

サクスヘルメットについて

1. 背景・概要

除染作業員に関するネガティブな報道がある一方で、除染作業員の多くは、福島環境回復のために日々、除染作業に真摯に取り組んでいる。また、福島県内メディアに届く県民の声の中には「除染作業員への感謝の声」もあり、そういった声も広く伝えることで、除染に対する住民の理解が醸成され、除染の加速化に資するものと考えられる。

このため、除染及び除染作業員に対するネガティブイメージの払拭、住民の除染への理解醸成を図る観点から、県内メディア（新聞・テレビ・ラジオ）8社が連携した「ONEふくしま」による広告「サクスヘルメット」を企画し、実施した。この内容については、ONEふくしま参画社が取材して新聞への掲載やテレビ・ラジオでの放映・放送を行い、県内等に広く周知された。

2. 実施内容

(1) 子どもたちから除染作業員へのサクスメッセージの贈呈

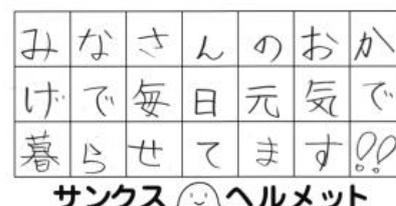
郡山市の小中学校3校の児童・生徒や、「ふたばワールド 2014 in かわうち」（平成26年9月28日開催）に参加した、主に双葉郡からの避難者の方々等から、除染作業員に対する感謝・応援の気持ちを伝える「サクスメッセージ」を募集し、そのメッセージをステッカーにして、福島県内の除染作業員に配布した（メッセージ：1,000通以上、配布対象除染作業員：30,000人超）。

10月12日には郡山市で、ONEふくしま参画社であるふくしまFMが主催した「ふくしまFM大感謝祭」において、「ONEふくしま『サクスヘルメット贈呈式 with 川嶋あい LIVE』」として、メッセージを作成した市内の小中学生から除染作業員へのメッセージステッカーの贈呈式を行った。

なお、除染作業員は現在も、メッセージステッカーを貼ったヘルメットを着用して、除染作業に従事している。



サクスヘルメット贈呈式の様子



子どもたちからの除染作業員へのメッセージ

(2) 除染作業員から子どもたちへのお返し

メッセージステッカーの贈呈を受け、除染作業員の方々から「お返しをしたい」という声が多くあがった。この除染作業員の方々の自発的な声を受けて、「ONEふくしま」では、サンクスヘルメットへのお返しの取組として後押しした。

○平成 27 年 2 月 26 日 郡山市立明健中学校 メッセージ色紙とサイネリアのプランターの贈呈



○平成 27 年 2 月 27 日 郡山市立橋小学校 メッセージ色紙の贈呈、「的あてボード ATARU くん」の除幕式&始球式 (2月20日に、的あてボードへのペンキ塗り作業を実施)



○平成 27 年 3 月 4 日 郡山市立薫小学校 メッセージ色紙とマーガレットやゼラニウムのプランターの贈呈



【参考】「ONEふくしま」について



県民一人ひとりの故郷
「ふくしま」を象徴する
山脈をモチーフ

「福島再生を目指して」という想いのもと、ともに広告企画を考えるという趣旨に賛同した福島のメディアのチーム及びその取組の総称。

【参加メディア】

- 新聞：福島民報社、福島民友新聞社（読売系列）
- テレビ：福島テレビ（フジテレビ系列）、福島中央テレビ（日本テレビ系列）
福島放送（テレビ朝日系列）、テレビユー福島（TBS系列）
- ラジオ：ラジオ福島、ふくしまFM

※環境省の位置付けは「協力」